



号外

がんばろう 東日本大震災復興と日本の再生に向けて
NIPPON
～みんなでがんばろう！～

民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-1-1
電話03-3536-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

地域の声を力に! ミニ集会に参加してみませんか

もとむら事務所では少人数による集会を行っています。国政報告や皆様からの生の声を聞かせていただき、政策に反映させていただいております。ぜひ皆さんもミニ集会に参加していただき、または行っていただき、一緒に政治をより身近なものにしていきましょう! 詳しくは下記事務所までお問い合わせ下さい。お待ちしております。



あなたも民主党に参加してみませんか

民主党は、生活者、勤労者、納税者、障がい者の立場にたって考え、21世紀の扉を開く新しい発想の政党です。

もとむら賢太郎事務所では、民主党への入党を受け付けています。年間党費は6,000円です。入党された皆様にはメンバーズカードを発行し、民主党機関誌・プレス「民主」を月に2回お届けします。

国会議事堂見学へのお誘い

皆様からお預かりしている税金の使い方や、日常生活に大きく関わる様々な法律が審議・決定される場所である国会議事堂にいらっやいませんか?

もっともっと皆さんにとって身近に感じられるようお時間の許す限りご案内いたします。ぜひ国会までお越し下さい。詳しくは、下記事務所までご連絡下さい。お待ちしております。



ご寄付のお願い

財政的にも、もとむら賢太郎をご支援いただける方は是非宜しくお願い致します。なお、いただきましたご寄付は、税額控除の対象となりますので、下記事務所連絡先までお問い合わせください。

*政治資金規正法上、ご寄付いただける方は、「お名前」「ご自宅住所」「電話番号」「ご職業」をお知らせくださいますよう、お願い致します。

民主党神奈川県第14区総支部
総支部長 もとむら賢太郎
横浜銀行 相模台支店 普通口座1525332

ポスターを掲示させてください

ぜひ、ご自宅の玄関やフェンスなど皆様のお近くに「もとむら賢太郎ポスター」を掲示させていただければ幸いです。どうぞよろしく願い致します。



つなごう 日本の未来

衆議院議員 文部科学委員・内閣委員・倫選特委員

もとむら 賢太郎

国政報告新聞



野田佳彦新総理が誕生しました 平成23年8月30日

8月30日、衆議院・参議院の両院の指名をうけて、野田佳彦新総理が誕生いたしました。

この5年で6人目の総理大臣というのは、やはり多いといわざるを得ません。

一方、原発事故の収束、東日本大震災からの復興・復興の対応が急がれ、円高・デフレ対策など課題が山積している今、待たなしの状況が続いています。そうした中で総理交代には、僕も与党議員の一人として責任を感じています。「どじょうの政治」。野田総理は自身の政治をそう表現しました。華やかでなくとも、実直に泥臭く、国民のために汗をかいて政治を前進させるという決意を、僕は支持します。2年前の政権交代で、皆さんが僕たちに期待したのは、「国民の生活が第一」である政治だったはずで。

国民の目線で、国民の生活の助けになる政治をすること。その期待に、僕たち民主党はどれほど応えることができているでしょうか。



野田総理はかつて、松下政経塾に入塾した際、「ずいぶん上に行くんだねえ」と言ったご友人に、こう返したそうです。「政治は上じゃないよ。生活の横にあるものだよ」その通りだと思います。政治はすべての人の生活に関わっています。だからこそ、僕は直接皆さんとお話をする機会を大切にしたいと思っていますし、それが政治の原点なのです。おかげさまで、野田内閣は65%の支持率という好スタートを切ることができました。しかし、その真価が問われるのはこれからです。僕の座右の銘は、『政は民にあり(まつりごととはたみにあり)』。その言葉を忘れず、改めて皆さんの期待に応えるべく、全力で政治に取り組んでいきます。

もとむら賢太郎プロフィール

- 相模台幼稚園・市立桜台小・相模台中・県立麻溝台高校・青山学院大卒。
- 本村和喜参議院議員秘書、東鉄工業(株)、藤井裕久代議士秘書。
- 平成19年県議会議員選挙にて、35,462票で2期目当選(トップ当選)。
- 平成21年8月衆議院議員選挙にて、157,644票で初当選を果たす。
- 地域活動・相模原自衛官募集相談員・相模原シティライオンズクラブ

■相模原事務所
〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺4-15-1
相模原総合卸売市場E棟7号
TEL 042(768)9055 FAX 042(768)9066
■ホームページ <http://dpj-kanagawa14.jp/motomura/>

■国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館305号
TEL 03(3508)7460 FAX 03(3508)3290
■メール motomura@dpj-kanagawa14.jp



9月から文部科学委員、内閣委員、倫選特委員になりました。

- 文部科学委員会…… ■文部科学省の所管に属する事項 ■教育委員会の所管に属する事項
- 内閣委員会…… ■内閣の所管に属する事項 (安全保障会議の所管に属する事項を除く。)
- 宮内庁の所管に属する事項 ■公安委員会の所管に属する事項
- 他の常任委員会の所管に属さない内閣府の所管に属する事項
- 政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会… ■政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する調査を行う

被災地支援活動

一緒に日本を再生させましょう。

日本人魂を学びました

訪問の際、震災でご家族を亡くし、住居を無くした方々に、何かお困りの事はありますかとお声かけしたところ『私たちより困っている人がいる。もっと困っている人たちを助けてあげてください。』とお話いただきました。自分の事より人の事を思いやる日本人魂を学び、これからの日本を担う仲間として、思わず涙がこみあげてきました。この想いを胸にしっかりと刻んで、復旧復興支援に全力で取り組みます。

第1回 3月28日～30日 岩手県大船渡市へ タウンニュースに掲載されました(23.4.14)

“人的・物的支援、まだまだ不足を痛感” 本村代議士、被災地入り 2011年4月14日号

地元14区選出の本村賢太郎衆議院議員は3月28日、相模原市の姉妹都市で、東日本大震災の被災地、岩手県大船渡市に入り、先発していた市職員とともに支援活動に参加。被災地の様子を次のように語った。

「ようやくたどり着いた被災地の光景は、私は言葉にすることができません。ぐるりと見渡して果てしなく続く瓦礫に、とてつもなく厳しい現実を見せ付けられた思いでした。現地で、市内上溝から大船渡の親族を訪問され、被災されたご婦人と知り合い車で一緒に帰相しました。ご家族との対面はそれは感動的な光景でした。数多くの人のつながりが、被災地との間にはもっとあるに違いありません。人もモノも、被災地にはまだまだ支援が必要です。引き続きのご支援を、どのような形でも、どうぞよろしくお願い致します。家も肉親もなくされながら、前向きに時には笑顔で今を生き抜こうとされている被災者の方々の一生懸命に生きる姿を目に焼きつけ、復興庁の創設をはじめ国ができること、すべきことに全力を注ごうと改めて決意しております」



第2回 5月1日～3日 岩手県大船渡市へ

現場第一、現場の声を国政へ

皆様からご協力いただいた支援物資をお届けし、現地で支援物資の仕分けや瓦礫の撤去作業などのボランティア活動をしてきました。また、大船渡市長からの要望、大船渡市体育協会や避難所での生活を余儀なくされている方々から現場の状況とご要望をお聞きしてまいりました。

あたり前の生活が出来ることに感謝し、東日本地域のふるさと復興に全力を尽くす決意を新たにしました。



避難所生活の現状を聞きました

第3回 6月12日～14日 岩手県大船渡市・宮城県気仙沼市



気仙沼市の若者達に文房具中古自転車をお届けしました

5月気仙沼市から「チャリティースイム・イン・相模原」に参加された若者達と約束をしていた、中古自転車と文房具をお届けしてまいりました。若者達との再会で笑顔に触れ、改めて皆様のご協力に感謝致しました。

後援会有志の皆さんと共にボランティア活動

支援物資をお届けし、気仙沼ボランティアセンターに登録し、泥の撤去作業を行ってまいりました。大船渡市長、同市体育協会、同市観光物産協会、気仙沼市商工会議所や避難所生活を余儀なくされている方々からご要望等お伺いしてまいりました。継続的支援が必要と感じました。



第4回 8月16日～18日 福島県南相馬市・相馬市・須賀川市へ



藤沼ダム崩壊現場へ(須賀川市)



小学校校庭放射線除去作業現場(南相馬市)

ダム崩壊現場・放射線除去作業現場へ

あまり知られておりませんが、福島県須賀川市の藤沼ダムでは震災でダムの堤防が崩壊し、8名の犠牲者ががえました。相模原市内にも相模ダム(相模湖)や城山ダム(津久井湖や宮ヶ瀬ダム)等あり、防災の観点から再度安全性を見直す必要性を感じました。

また福島県南相馬市で行われている放射線除去作業現場の状況を視察してまいりました。

みんなで節電対策。～できることから始めよう～

もとむら賢太郎事務所は節電 39%*減達成。 ※7月～9月期の電気使用量の前年同期比。



昨年 7月分は30日間で 753kWhです。今年7月 496kWh
今月分は昨年と比べ 34%減少しています。

昨年 8月分は29日間で 885kWhです。今年8月 528kWh
今月分は昨年と比べ 40%減少しています。

昨年 9月分は33日間で 1,019kWhです。今年9月 590kWh
今月分は昨年と比べ 42%減少しています。

○もとむら賢太郎は毎月1回を目標に後援会有志の皆様と被災地支援活動を行っております。

○支援物資の提供やボランティア活動の参加をお待ちしております。詳しくは、もとむら賢太郎事務所までお問い合わせください。